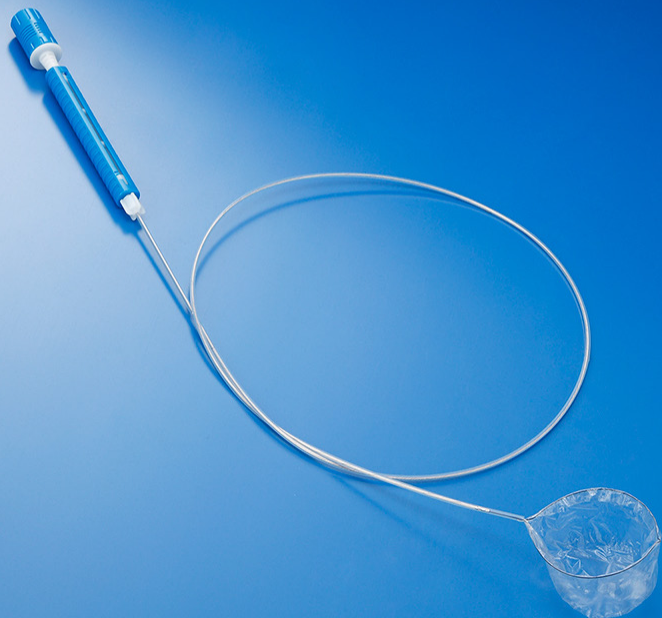


内視鏡用組織回収バッグ

エンドキャリー



製造販売届出番号：20B1X00005000036

自然開口向け単回使用内視鏡用非能動処置具 一般医療機器

ラージタイプ

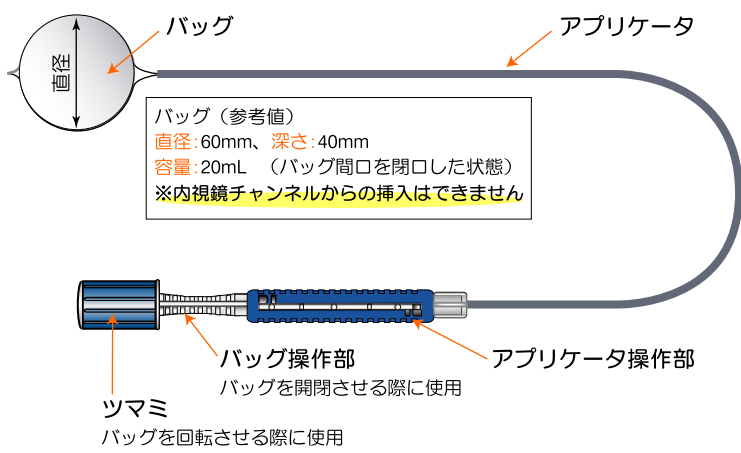
適応

管腔内の異物除去 EMR,ESD時の組織回収
【EMR：内視鏡的粘膜切除術 ESD：内視鏡的粘膜下層剥離術】

特長

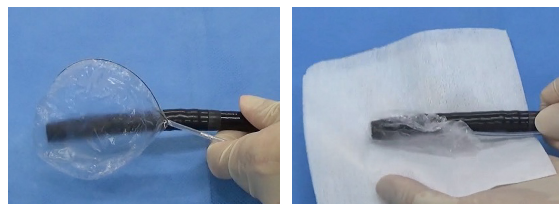
- 回収バッグはフィルム状であり、バッグ間口は巾着状に完全閉口するため、異物および組織を漏らさず、損傷を与えずに回収することができます。
- 回転追従性に優れ、バッグ間口の方向を的確に調整することができます。^{*}
また、バッグ間口は複数回開閉可能です。
- 容量は、大きな組織の回収も可能な20mLです。
(通常タイプのバッグ容量3.0mL)

^{*}バッグは、一方向に360°以上回転させないようにしてください。
(バッグ開閉に支障をきたす恐れがあります。)

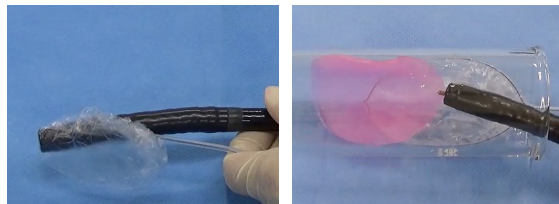


使用方法

バッグを内視鏡の先端にかぶせる。バッグ操作部を手元側に引き、バッグ底部を内視鏡に密着させた状態で、バッグに潤滑剤を塗布する。



内視鏡とアプリケータを把持し体内へ挿入する。目標の位置まで挿入したらバッグを展開し、回収物を収納後バッグを閉じ、内視鏡と一緒に体内から引き抜く。



※詳細な使用方法は添付文書もしくは電子添文をご確認ください

仕様

製品コード	バッグサイズ		アプリケータ	
	容量	外径	有効長	
29112010	L60×W60×D40mm	20mL	2.6mm	1,000mm

包装形態
1箱1本入、1本毎ピールオープン包装、EOG滅菌済

本製品をご使用になる前に、製品の注意事項等情報（電子添文等）の内容を必ずご確認ください。
注意事項等情報には、「禁忌・禁止」事項や使用方法、使用上の注意等重要な事項が記載されています。

監修：大阪大学 次世代内視鏡治療学共同研究講座（プロジェクトENGINE）中島 清一 特任教授
(本製品は、大阪国際がんセンター 消化管内科 竹内洋司先生のアイディアを基に開発しました。)



本製品は、以下の事業の成果物です。

・平成21年度補正予算
経済産業省委託事業
戦略的基盤技術高度化支援事業

・平成22年度、平成23年度
経済産業省委託事業
戦略的基盤技術高度化支援事業

・平成23年度、平成24年度
経済産業省委託事業
関西イノベーション国際戦略総合特区
課題解決型医療機器の開発・改良に向けた病院・企業間の連携支援事業

・平成26年度
経済産業省委託事業
関西イノベーション国際戦略総合特区
医工連携事業化推進事業

販売窓口

〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目42-6 南江堂ビル ☎(03)5804-8500
ホームページ <https://www.hakko-medical.co.jp/>

札幌 ☎(011)215-1530 横浜 ☎(045)954-2111 名古屋 ☎(052)914-8500 福岡 ☎(092)411-4100
仙台 ☎(022)257-8502 長野 ☎(026)276-3083 大阪 ☎(06)6453-9102 熊本 ☎(096)288-4690
柏 ☎(04)7131-8580 金沢 ☎(076)225-8560 岡山 ☎(086)243-3985 本郷商品管理センター
本郷 ☎(03)5804-8500 静岡 ☎(054)282-4185 松山 ☎(089)935-8517 ☎(03)5840-8502

製造販売

株式会社 八光
メディカル事業部



〒389-0806 長野県千曲市大字磯部1490番地